



## 第9回ふれあい人権講座

### 「コロナ禍の女性を考える」

#### 「男女共同参画・女性活躍の現状」

3月9日の講座では、コロナ禍が女性の暮らしにどんな影響を与えているか、また、国の掲げる「男女共同参画」や「女性活躍」の推進の現状を考えました。

コロナ禍が浮き彫りにしている女性を取り巻く問題のひとつは、就労の問題かと思っています。近年、女性活躍の取り組みの成果として女性の就労が増えていると言われますが、その内容はパート、アルバイトなどの非正規雇用が多いようです。コロナ禍は経済を停滞させています。経営主が経費を抑えるため最初に手を付けるのは

非正規雇用の解雇や雇い止めです。

結果、女性や外国人労働者（研修生）が経済的困難に追い込まれます。女性のひとり親世帯は影響を強く受けると考えざるを得ません。また、学校の休校や、在宅勤務、外出の自粛など、いわゆる巣ごもりによって家事労働は重くなっています。家事や家族のストレスを受け止める立場が女性であるケースは多く、心身への負荷が高まっています。家庭内暴力や児童虐待のきつかけになる可能性も指摘されています。これらには性差（ジェンダー）の平等が叫ばれる現代でも社会が危機に見舞われると、女性にしわ寄せが来る現実が見えます。

### 【選択的夫婦別姓のこと】

男女共同参画や女性活躍を含めた性差平等の実現のために「選択的夫婦別姓」が議論されています。結婚により姓が変われば、社会的にも内面的にも影響があります。女性に限りませんが、性別に関わらず自分自身として生きていく性差平等への制度的第一歩という主張があります。しかし、国政を担

う立場の方々からの反対意見があり、その中には幾人も女性がおられます。制度変更の実務的な難しさや家族観が変わるといいう危惧が理由のようです。この状況は日本の男女共同参画、女性活躍のあり方を、あらためて問いかけてきます。

### 【参加された方の感想から】

- ・「多様性の受け入れ」は大きな課題で、様々な人権問題に通じるものだと思います。
- ・コロナ禍での生活変化は、男女共同参画を考えるきっかけになると思います。
- ・コロナ禍以外の話、多様性の話にも広がり良かったです。政治の事、家庭の事、外国のことまで話が深まりました。



▲SDGs目標5「性差の平等を」日本の格差解消度は世界121位

## 【次回予告】

### 第10回ふれあい人権講座

#### 「ノミンさんの歌のコンサート」

「ちよつと多様性ちよつと人権」

モンゴル出身で歌の大好きなノミンさんのコンサートです。多様性や人権もちよつとぴり絡めつつ、楽しい夕べになるよう準備中です。お気軽にお越しください。

日時 3月30日（火）

午後6時～7時30分

会場 日南町人権センター

歌 日南町交流支援員

エレデネジャブ・ノミンさん

#### 4月の人権相談・行政相談

日時 4月9日（金）

午前9時～12時

会場 子育て支援センター

☆予約は不要で秘密は固く守られます。お気軽にお越しください。

「出張弁護士なんでも相談」も同日午後2時～4時まであります。相談をご希望の方は、人権センターまでお電話ください。

